

## 「合同企業説明会」に迷彩服で参加し、自衛隊をPR！

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 岡山一海尉）は、3月7日（火）、松蔭大学で行われた「合同企業説明会」に参加した。

この説明会は、3月1日の大学生の就職活動解禁に合わせ、各企業が業務内容や採用情報を公開するもので、自衛隊の他にも十数社の企業が参加した。

当日は、自衛隊のことをもっと知ってもらいたいと迷彩服で参加し、自衛隊の魅力ややりがいをアピールした。学生からは「迷彩服を着た自衛官を初めて見ました」「災害派遣の話聞かせてください」との声が聞かれるなど、自衛隊ブースを訪れた多くの学生とコミュニケーションを図ることができた。

厚木募集案内所は、「今後も、自衛隊の魅力を理解してもらえよう、工夫を凝らした募集広報に努める」としている。



迷彩服を着た広報官の話を真剣に聞く学生

## 神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」研修を支援 「三浦半島研修」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 松田辰雄一海佐）は、3月10日（金）、神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の三浦半島地域研修を支援し、会員及び隊員相互の親睦と連携を図った。

本研修には、神奈川県内に居住される10名のご遺族が参加し、三浦半島地区の風土や地元特産品などに触れる機会となった。

特に昼食では、地元こだわりの豆腐を利用した豆腐創作料理を堪能し、参加者たちは食を楽しみながら、ご遺族相互の親睦を深められていた様子であった。

また、参加者からは「久しぶりに皆さんにお会いでき、嬉しかった」との感想が聞かれるなど、終始和やかな雰囲気での研修となった。

本研修支援を通じて、遺族支援業務の重要性を改めて認識するとともに、ご遺族にとって常に身近な存在でなければならぬことを実感した一日であった。



自衛隊の仕事に興味を示す学生

## 「自分の能力を最大限に発揮できる職場探し」 「合同企業セミナー」で自衛隊をPR

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、3月8日（水）、横浜市立大学において開催された「合同企業セミナー」に参加した。

同セミナーは、3月7日から10日までの間行われ、約190社の企業ブースには、3年生の学生を中心に、「自分の能力を最大限に活かせる組織」を求める多くの学生が訪れた。自衛隊ブースでは、自衛隊には多種多様な仕事があることを説明すると、学生たちは興味を示し真剣な眼差しで聞き入っていた。

特に、公安系の仕事を目指している学生は、「国防」と「災害派遣」に関心を示し、自衛隊の使命に共感を覚えた様子であった。

上大岡募集案内所は「今後も、自衛隊の魅力アピールし、適質な人材確保に努めていく」としている。



昼食時に懇談される参加者たち